JEMA NEWS
Japan Educational Materials Association
2008
VOL.57
平成20年7月

法人化10周年記念式典 平成20年度定時総会 開催

～平成20年5月21日（水）～

挨拶する大江会長〈法人化10周年記念式典〉

社団法人日本教材備品協会が平成10年6月、町村信孝文部大臣（当時）より公益法人として認可を頂いて満10年を迎えたことからさる5月21日（水）文部科学省代表者、業界団体代表者、都府県協会会長、ならびに販売会員・製造会員など多くの参加を得て法人化10周年記念式典が東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷（私学会館）で挙行されました。記念式典は、大久保副会長の司会で始まり、大江会長の挨拶のあと、文部科学省より樋口修資スポーツ・青少年局長・前文部科学審議官田中壮一郎国立青少年スポーツ振興機構理事長からご祝辞を頂きました。引き続き、当会の法人化に努力された4人の方、設立以来県会長として現在までご努力された4人の県会長、設立後役員として今日まで運営にご努力された3人の方合計11名が表彰されました。受賞者を代表して公益法人化時点に会長として活躍された南一人現相談役（第1期～第3期会長）から謝辞があり法人化設立時の苦労話や会員の法人化への情熱等のお話が披露されました。

最後に「法人化設立10年の歩み」が投影され設立前から各年度の動きと設立後の活動についての“あゆみ”が紹介され今後も日本の教育の発展のために寄与していくことが報告されました。（大江会長挨拶の要旨は3ページに掲載）

法人化10周年記念式典に先立ち平成20年度定時総会が開催され、平成19年度事業報告・収支決算、平成20年度事業計画案・平成20年度予算案が提案され承認されました。また、都府県協会会長会も開催され21名の会長が出席し各地の状況報告・平成20年度の活動について意見交換されました。

法人化10周年記念式典〈特集〉

法人化十周年記念式典　次第

社団法人日本教材備品協会

日時＝平成二十年五月二十一日（水）　午後四時～午後五時

場所＝アルカディア市ヶ谷（私学会館）　富士の間

一、会長挨拶　（社）日本教材備品協会会長　大江　正之

一、来賓祝辞　文部科学省事務次官　銭谷　眞美

文部科学省スポーツ・青少年局長　樋口　修資

独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長

田中壮一郎

一、功労者表彰

一、表彰者代表ご挨拶　南　一人

一、法人化設立十年の歩み

一、閉会のことば

（注：式次第にある銭谷眞美事務次官は公務のため欠席）

祝辞：樋口 修資 文部科学省スポーツ・青少年局長（当時）

祝辞：田中 壮一郎 独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長(前、文部科学審議官)

来賓席：前列右より樋口局長・田中理事長

後列右より関財務課長、勝山財務課教育財政室長、亀田 PHP 総会研究所主任研究員

法人化10周年記念式典〈特集〉

受賞者と三役

受賞式スナップ

【功労者表彰者一覧】

●法人化設立の礎を築かれた方
　南　一人　様
　鈴木　信　様
　鶴井一巳　様
　金井　乾　様

●設立以来県会長として県協会の発展に寄与された方
　木村和一　様
　太刀川善之助　様
　中越忠男　様
　小淵　孝　様

●設立後役員として協会運営に寄与された方
　遠山耕平　様
　浅見　匡　様
　小柴重信　様

謝辞：南 一人 相談役

閉会挨拶：枦山 義幸 副会長

公益法人化１０周年記念式典

大江会長 挨拶

本日は、社団法人日本教材備品協会の法人化設立１０周年記念式典に多くの会員の皆様の参加を得て、また、文部科学省幹部多数のご来賓をむかえて開催できますことは大変な喜びであります。

当会は、平成３年に教育関係の二つの団体が合併して任意団体である日本教材備品協会（通称、JEMA）が発足いたしました。その後、数多くの先輩の努力と文部科学省様のご指導のお陰で平成１０年６月２４日に当時の町村信孝文部大臣（現在の官房長官）から公益法人設立認可をいただきました。

当会は満10年ですが、教育関係団体では㈶日本視聴覚教育協会は80年、㈳日本理科教育振興協会は36年、㈳日本教育工学振興会は26年の歴史を考えると我々はまだまだひよ子といえます。

我々の活動は、教材教具に関する①調査研究開発活動②普及啓発活動③品質向上を中心として活動してまいりましたが当会独自のテーマ④将来を担う子供たちの安全安心を考えて取り組んでおります。

これらの活動が評価され、平成17年～19年とスポーツ・青少年局より３年間にわたり委嘱・委託事業を受託し「学校教材教具の化学物質放散量調査」へ取り組んできました。さらに２年前に初等中等教育局が公募した新教育システム開発プログラムに応募し採択され２年間の委託事業に取り組みました。　当会が応募したテーマは「学校教材整備の仕組みの構築」であります。このように、過去の活動を認められて文部科学省より移植・委託事業を受託してまいりましたが、公益法人としてどのような活動すべきなのかが問われております。現在、公益法人の見直しが打ち出されておりますが、単に業界にとって必要な団体ではなく日本の教育にとって、ユーザーにとって真に必要な団体になるべく努力して法人化20年を目指して活動してまいりますので一層の御支援御協力をお願い致します。

平成20年度定時総会〈特集〉

平成 20 年度定時総会は 5 月 21 日 (水) 東京都千代田区九段北のアルカディア市谷 (私学会館) で都府県協会会長 21 名の他に、製造会員及び東京近郊の販売会員の出席を得て開催されました。

鹿児島県教材備品協会坂下英則会長が司会を担当し、「会員数 911 名、委任状を含む出席会員 495 名で過半数の 456 名を超えているところから総会は成立する」旨を発表し開会した。

開会挨拶を大久保副会長が行い、定款に基づき議長を大江会長が務め、審議に入りました。

１．第 1 号議案：平成 19 年度事業報告承認の件
２．第 2 号議案：平成 19 年度決算承認の件
事務局からの説明後、具嶋監事より監査報告があり、諮ったところ承認された。
続いて、
３．第 3 号議案：平成 20 年度事業計画承認の件
に移り、大江会長が活動概要を説明し、各委員長より委員会の活動方針について説明した。

企画推進委員長・大久保委員長
普及啓発委員会・久元委員長
研究開発委員会・石崎委員長
広報委員会　　・小柴委員長 (代理、宮地委員)

各委員長の説明後諮ったところ承認された。

４．第 4 号議案平成 20 年度収支予算案承認の件
小竹事務局長より説明後諮ったところ承認された。

全議案が承認された後文部科学省初等中等教育局財務課関靖直課長よりご祝辞を頂いただきました。最後に久元哲夫副会長が閉会の挨拶を述べ定時総会は無事終了しました。

祝辞：関 靖直 文部科学省初等中等教育局財務課長

司会：坂下 英則 鹿児島県会長

開会挨拶：大久保 昇 副会長

定時総会会場

監査報告：貝島 聖二郎

閉会挨拶：久元 哲 夫副会長

平成 20 年度定時総会〈特集〉

委員会	活動テーマ	具体的活動
企画推進委員会	①文科省委託「新教育システム開発プログラム」の研究成果をもとに、教材整備の指標の策定と、教材情報共有システムの構築、普及を図る。 ②教材の交付税措置率向上に向けての要望活動を推進する。 ③法人認可 10 周年を踏まえて、今後の 10 年間はさらに公益性の高い法人をめざし、会員の拡大と財政の確立を図る。	●新しい教材整備の指標を策定し、関係部署への普及を図る。また、「教材情報共有システム」を構築しその充実と教育現場への啓発活動を行う。 ●義務教育水準の確保・機会均等の観点から教育環境整備のために全国の自治体への要望活動や交付税交付金が教材購入のために適正に措置されるための方策を研究して提言する。 ● JEMA 組織の確立には財政基盤の充実が絶対条件であることから製造会員を中心に会員拡大を目指す。組織としては社会貢献性を有する公益法人化に向けて活動する。
普及啓発委員会	①「教材情報共有システム」を広く知らしめ、教材購入の活性化のための方策を検討する。 ②会員向け研修会（販売会員・製造会員向け）の開催による会員のレベルアップを図る。 ③都道府県協会活動の支援を通じて会員意識の向上と組織の強化を図る。	●「教材情報共有システム」を通し、学校現場の教材購入意欲を高め、需要創造に結び付けるための啓発及び普及活動を行う。 ●販売会員向けに毒劇資格取得のための講習会や製造会員向けに教育情報の解説を主にしたセミナーなどを開催する。 ●都道府県総会等の開催を促進する。製造会員が都道府県協会総会や販売会員の行事、予算要望活動等に参加し販売会員との共同活動により JEMA 活動の促進を図る。
研究開発委員会	《安全基準部会》 ① JEMA 安全基準の普及拡大を図る。 ②文部科学省の委託事業の経験を生かし、新しい安全基準の見直しを図る。 《教材部会》 ①新しい教材整備計画のガイドライン策定に向けての協力を行う。 ②教材活用情報共有サイトの活用を促進する。 ③新学習指導要領等の情報を積極的に提供する。	●児童生徒に安全と安心を確保するために MA 会員が製造し販売する教材教具すべてに「安全マーク」を表示することを目標にする。行政や学校現場への普及活動を徹底する。 ●学校現場の教育環境や教材の材料などの変遷を踏まえて、教材教具の安全基準を見直しを行い、関係部署に提案する。 ●公平で効果的な教材整備のために作成するガイドラインに商品面から提案を行う。 ●教材の普及を目指して学校現場での利用実態や求められる教材について調査し製造会員にフィードバックし、市場にマッチした教材の提供を目指す。 ●勉強会の開催や教材情報誌等の充実を図る。
広報委員会	① JEMA の広報活動の活性化のために、ホームページ（HP）による積極的な PR と情報公開を徹底する。 ②広報媒体としての機関誌や HP 等によるサービスの拡大。 ③教育業界協力による予算拡大のための広報活動の実施。	● HP の定期的な更新により、時機を得た情報提供を実施する。 ●会員向け機関紙「JEMA ニュース」、ユーザー向け機関紙「教材情報」の定期的発行 ●教育環境整備のため業界各団体との協力活動を促進する。また、JEMA 活動を広く外部に公開し、理解と信頼を確保する。

大久保委員長

久元委員長

石崎委員長

小柴委員長（代、宮地委員）

平成 20 年度活動スケジュール

月 度	行 事	対 象
7 月～ 8 月	県協会総会開催	各県
8 月	平成 20 年度毒劇取扱資格試験講習会	希望会員
9 月	理事会	理事
7 月～ 11 月	各県・各自治体への要望活動	各会員
12 月	理事会・製造会員会議	理事・製造会員

法人化10周年・平成20年度定

鳩山邦夫法務大臣

伊藤達也代議士（首相補佐官）

坂井学代議仕

懇親会場

法人化10周年記念・平成20年度定時総会懇親会

定時総会・法人化10周年記念式典が無事終了した後、懇親会が開催されました。懇親会には都府県協会会長会に出席した会長、東京近郊の販売会員、全国から集まった製造会員、官界、業界からの来賓を含めた120名が参加しました。

懇親会は、岡田真嘉理事（株式会社トップマン社長）の司会でスタートしました。

最初に、当会顧問の鳩山邦夫法務大臣から祝辞をいただき、坂井学衆議院議員そして首相補佐官である伊藤達也衆議院議員の3人の先生より法人化10周年の温かい励ましのお言葉をいただきました。

文部科学省からは、金森越哉初等中等教育局長、前川喜平初等中等教育局審議官さらに文化庁から高塩至次長にご出席いただきご祝辞をいただきました。

業界団体からは、㈳日本理科教育振興協会、㈳日本教育工学振興会、㈶日本視聴覚教育協会、全日本学校教材教具協同組合の代表者の方々にご出席いただきました。

最後に小淵孝長崎県会長の手締めで懇親会を終了いたしました。

定時総会 懇親会 盛大に開催!!

金森 城哉初等中等教育局長

高塩至文化庁次長

亀田 徹氏
（PHP 総合研究所主任研究員）

乾杯：浅見 匡理事

司会：岡田真嘉理事

JEMA 設立 10 年の歩み

年度	期	教材業界	会長	教材整備の動向他
昭和 40 年 42 年 48 年 平成 3 年 平成 8 年		全日本出版教材商業組合設立 全日本教材工業界設立 ↓ 大同団結 日本教材備品協会設立 （通称：JEMA） 都府県協会設立スタート	 平成 3 年会長： 水治富雄 平成 4 年会長： 南一人	「教材基準」制定 「標準教材品目」策定 ・10 年計画 ・8,000 億円
平成 10 年	1	法人設立認可《6 月 26 日》 ・「標準教材品目改訂調査研究活動」受託※	会長：南一人	
平成 11 年	2	・「標準教材品目改訂調査研究活動」受託※		
平成 12 年	3	・JEMA ホームページ開設		
平成 13 年	4	・「教材機能別分類表」説明会開催	会長：大江正之	「標準教材品目」1 年据置 学校環境衛生基準（4 物質）
平成 14 年	5	・教材整備台帳制作・販売※ ・教材ガイドブック制作・販売※		「教材機能別分類表」策定 → 5 カ年、4,300 億円 学校環境衛生基準（2 物質）
平成 15 年	6	・化学物質放散量調査研究会発足		
平成 16 年	7	・JEMA 教育セミナー開催 （群馬県・福島県） ・教材導入ガイドブック改訂版※		
平成 17 年	8	・委嘱事業「教材教具の化学物質放散量調査」受託 ・委嘱事業「教材整備の実態調査」受託 ・JEMA 教育セミナー開催 （群馬・兵庫） ・JEMA 安全基準策定 《安全マーク登録》		
平成 18 年	9	・委嘱事業「教材教具の化学物質放散量調査」受託 ・委託事業「新教育システム開発プログラム」受託		
平成 19 年	10	・委託事業「児童生徒の現代的健康課題への学校における取組に関する研究」受託 ・委託事業「新教育システム開発プログラム」受託		「教材機能別分類表」1 年据置
平成 20 年	11	・法人化 10 周年		

注：※印の事業は㈳日本教育工学振興会、㈶日本視聴覚教育協会との共同事業

平成２０年度都府県協会会長会開催

平成２０年度都府県協会会長会は、定時総会開催前に北は青森県、南は鹿児島県から全国２１地区の会長様が一堂に会して開催されました。

会長を代表して、当会の理事でもある太刀川善之助新潟県会長が座長として選任され、

１．各都府県の協会活動の報告
２．予算増額のための具体的要望活動
３．メーカー会員の参加
４．その他：教材活用事例集の発行について

等の議題について活発な意見交換が行われました。

＜敬称、略＞

都府県名	社　名	会長名
青　森	(株)ふじや	下斗米 榮三
岩　手	(有)水沢教材社	千田　二男
秋　田	(有)榊田分店	木村　和一
福　島	(有)水野教材社	水野　武和
群　馬	(株)島田教材社	島田　和久
埼　玉	(有)小山日進堂	小山　眞治
千　葉	(有)しらいし	白石　健二
東　京	(株)小笠原	小笠原 暢成
神奈川	(株)ミヤダイ中央社	宮台　俊郎
新　潟	(株)平野屋	太刀川 善之助
岐　阜	(有)ＴＥＳミツオカ	光岡　幸則
静　岡	(株)ミヤムラ	宮村　静
三　重	(有)ケルビン	坂井　昭
京　都	西村新商店	西村　太嗣
兵　庫	トップマンナガタ教材(有)	長田　秀人
奈　良	ユニバァーサル	岡田　泰和
岡　山	三彩堂	鶴井　一巳
広　島	(株)小川晩成堂	小川　悦朗
愛　媛	(株)シマダジムキ	嶋田　昇
高　知	(株)伸光堂	中越　忠男
長　崎	(株)コブチ	小淵　孝
鹿児島	(有)きむらや	坂下英則

座長：太刀川 善之助 新潟県会長

会長会風景

会長会風景

教材活用実践事例集　発刊のご案内!!

このたび、教材需要の掘り起しと教材整備推進を目的とし、「教材活用実践事例集」を発刊いたします。

Ｈ１８，１９年度に当協会が受託した、文科省委託事業「学校教材整備の仕組みの構築」事業の調査を基に、**学校が欲しがっている情報**を、**学校が見やすい視点で編集**し、且つ**教材販売に繋がる販促資料**として発刊いたします。

これまでに無い画期的な資料です。

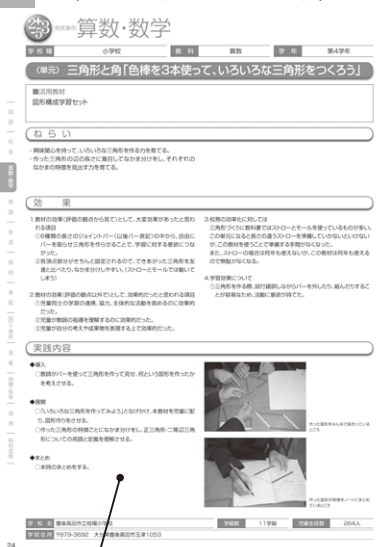
是非、販売活動を兼ねて需要掘り起こしの為、教育委員会並びに学校へ配布下さい。

※特に秋に教材整備計画を立てる学校に置かれましては、是非配布下さい！

概　要	約120ページ・カラー

〈表紙〉

〈本文（イメージ）〉



＜教材の活用事例ページ＞
- 教科書の単元と教材の対応
- 活用のねらいと教材の効果
- 実践内容

＜ジェマからの提案ページ＞
- 事例で活用された教材紹介
- その他の教材活用事例の提案
- 関連教材の紹介

＜編集後記＞

法人化 10 周年記念式典を挙行いたしました。

業界の他団体の歴史は驚くほど永く 10 年の歴史は誇りえるものでなく１つの通過点として捉えるべきでしょう。

次の 10 年の活動は真に日本の教育界にとって価値あるものでなければなりません。過去の活動を自省し歩みたいと思います。

JEMA NEWS VoL.57 号
（ジェマ　ニュース）

発行日　平成20年7月25日
発行人　**社団法人 日本教材備品協会**
〒 160-0012　東京都新宿区南元町23番地 公立共済四谷ビル4階
☎ (03) 5919-2055　FAX (03) 3341-0266